

令和4年度 田原本町社会福祉協議会事業報告

社会福祉法人 田原本町社会福祉協議会

令和4年度 田原本町社会福祉協議会事業報告

1. 事業実施概要

令和4年度は、コロナ禍において、日々生きづらさを抱える方々、生活に困窮された方々からの相談をお受けするとともに、そのニーズにも応えるべく感染拡大・防止対策の徹底を図りながら、地域福祉推進の歩みを止めないよう、地域における新たなつながりの芽が生まれ、育まれるように心掛けました。また昨年度に引き続き、生活福祉資金貸付制度や本会独自の緊急小口資金貸付制度の利用、町役場から委託を受け実施した困窮世帯等へのフードレスキュー・見守り事業を通し、支援が必要な方と途切れることのないような援助活動に努めました。

各事業の遂行にあたっては、基本方針である「地域共生社会」の実現に向け住民をはじめとする多様な地域関係者とともに、住民が主体となる活動支援に重きを置き、地域の実情に応じた活動が活発・着実に展開されるように実施しました。

事業の組み立て

- (1) 地域福祉活動の推進
- (2) 生活支援事業の推進
- (3) ふれあいセンターの管理運営
- (4) 事務局運営の充実強化
- (5) 専門職の派遣による福祉施策の充実

2. 各施策・事業の実施状況 [] 前年度実績

(1) 地域福祉活動の推進

1)地域での支え合い・助け合い活動の推進

◇地域のつながり強化支援—重層的支援体制整備事業への移行準備事業（町委託事業）—
職員が積極的に地域に出向き、社会的孤立の解消への取り組みや、世代や分野を超えて皆で支え合える、住民主体の地域づくりを支援しました。

「アウトリーチ等継続的支援事業」

- ・相談支援件数…441件〔649件〕新規受付件数…0件〔18件〕終結件数…3件〔2件〕
- ・重層的支援会議開催数…3件〔2件〕

「地域づくり事業」

- ・活動者・地域への支援…449件〔288件〕
- ・職員参加会議件数…14件〔11件〕
- ・助け合い・支え合い活動の組織数…5件〔5件〕
- ・磯城野高校、地域包括支援センターと連携し、社協の中庭で、ほのぼのGardenづくりに取り組みました。…12/26
- ・一人親家庭等への生活支援として、お米の配付事業を継続し、福祉の情報をいち早く提供できるように公式LINEおよび情報提供カードを作成・活用しました。また、企業や住民の方々からお寄せいただいた日用品や食料品を無償で提供する「おたがいさまコーナー」を設置しました。

◇生活支援サービスの充実と社会参加支援（町委託事業）

- ・個別支援…72件〔114件〕（個別生活支援に関する相談、訪問、調整等を実施しました）
- ・地域活動支援…490件〔300件〕（住民主体活動の支援、アンケート調査等を実施しました）

◇災害ボランティアセンター立上げ・運営訓練

第26回日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練において、災害ボランティアセンターの立上げ・運営訓練に参画しました。…6/18

2)福祉教育の充実

◇福祉教育推進連絡会（小・中学校の担当教員、社協で構成）…12/16

◇小・中学校等における福祉体験学習等の職員派遣及び関係団体との調整
（件数：7件〔4件〕下記のとおり福祉体験学習の実施に協力しました）

- | | | |
|--------------|-------|--|
| ・平野小学校3年生 | 10/6 | 車椅子・アイマスク体験 |
| ・田原本中学校1年生 | 10/31 | 中高生向け災害ボランティア特別講座 |
| | 12/15 | 車椅子・アイマスク・高齢者疑似体験・要約筆記・手話体験・認知症サポーター養成講座
（町内福祉施設職員、ボランティアの協力） |
| ・田原本小学校4年生 | 1/24 | 車椅子体験 |
| ・東小学校3年生・4年生 | 10/14 | 車椅子・アイマスク体験 |
| ・南小学校4年生 | 1/31 | 体験 |
| ・北小学校4年生 | 2/13 | 車椅子・アイマスク体験 |

◇町内各小・中学校、磯城野高等学校、高等養護学校への福祉教育及び学校ボランティア活動へ助成金を交付しました。

3)幼児の健全育成と子育て支援

◇幼児教室（町委託事業）

すいせんの会（民生児童委員、主任児童委員から組織）の協力により、就園前の幼児と、その保護者を対象に集団遊びや季節の行事を開催しました。

- ・開催数…全10回〔8回（2回中止）〕、参加者数…20組〔19組〕

◇ファミリー・サポート・センター事業（町委託事業）

子育ての援助をして欲しい人（依頼会員）と、援助したい人（援助会員）が会員として登録し、有償で行う住民相互の援助活動の調整と活動支援を行いました。

- ・依頼会員…44名〔26名〕
- ・援助会員…39名〔33名〕
- ・調整件数…22件〔20件〕
- ・活動件数…131件
- ・援助会員養成講座の開催…10/6、10/11、10/13
- ・援助会員交流会の開催…8/3、3/3 延参加者…32名〔50名〕
- ・援助会員専用公式LINEを活用し、より効率的な運用を図りました。

4)高齢者の見守りと地域づくり

◇福祉給食・見守り事業

一人暮らし高齢者等へ、見守りを兼ねた昼食の調理・配食をボランティア（ふれあいの会、なでしこの会、男性の民生児童委員有志）の協力により実施しました。

- ・実施回数…48回〔48回〕
 - ・対象者数…47名〔45名〕（内、新規…5名〔4名〕）
- ※8/25から9/29まで（5回）新型コロナウイルス感染症感染・拡大防止のため、民間事業者からの食事調達による配食を実施しました。

◇友愛訪問活動の推進（町老人クラブ連合会との連携）

老人クラブ女性部による会員相互の見守り訪問活動に協力しました。

- ・対象者数…139名〔127名〕
- ・一人暮らし老人慰安会…10/23
- ・女性部手芸教室…7/29

5)ボランティア活動支援

◇ボランティアセンター運営

相談、ニーズ調整、情報提供、啓発活動等を随時実施しました。

◇ボランティア活動保険加入

- ・一般ボランティア活動…620名〔684名〕
- ・行事ボランティア活動…16件〔11件〕
- ・送迎ボランティア活動…2件〔1件〕
- ・福祉サービス総合補償…0件〔1件〕
- ・事故報告件数…1件〔0件〕

◇下記団体への活動助成金を交付しました。 6団体〔5団体〕

- ・OHP田原本
- ・田原本町手話サークルしきの会
- ・ボランティアグループぶりっじ
- ・たすけあいの会「コスモス」
- ・たわらもと傾聴
- ・田原本おはなし会

◇レクリエーション物品貸出事業（ふれあいセンターとの連携）

住民主体による集いの場等で使用できる機器やゲーム物品等を貸出しました。

- ・社協受付件数…8件（マイクセット、プロジェクター等）〔4件〕
- ・ふれあいセンター受付件数…10件（わなげ、スカットボール等）〔4件〕

6)福祉を身近に感じる機会づくり

◇住民参加型事業（田原本町共同募金委員会との連携事業）

～ハロウィンイベント～「家族で楽しむサイエンスパフォーマンスショー」を開催し、感謝の気持ちを伝える「ありがとうメッセージ」動画上映と親子で楽しむことができるイベントを通じて支え合い活動である共同募金運動の啓発に努めました。…10/8

7)福祉関係団体活動支援

◇田原本町共同募金委員会

地域福祉活動を積極的かつ計画的に展開するための財源を安定化し有効活用するために、下記会議を開催しました。

- ・運営委員会…5/30、3/20
- ・審査委員会…2/27

◇下記団体の運営事務及び、研修会の企画・開催等を通じた地域福祉関係者間との連携を推進しました。

- ・町民生児童委員協議会
- ・町老人クラブ連合会
- ・町ボランティア連絡協議会
- ・町身体障害者福祉協会
- ・町母子寡婦福祉会
- ・町遺族会
- ・「英霊にこたえる会」田原本町支部
- ・磯城郡遺族会

◇下記団体への活動助成金を交付しました。

- ・町身体障害者福祉協会 ・町母子寡婦福祉会 ・町老人クラブ連合会
- ・どんぐりの会 ・のぞみ会田原本町支部 ・町ボランティア連絡協議会 ・町遺族会

8)磯城郡社会福祉協議会への参画

◇磯城郡社会福祉功労者表彰式を開催し、多年に亘り活動されている地域福祉関係者を顕彰しました。…10/19

◇郡域福祉団体へ活動助成金を交付しました。…7団体

(2) 生活支援事業の推進

1)相談支援

◇心配ごと相談事業（原則第4木曜日に開催しました）

- ・開催数…12回〔12回〕 ・相談者数…8名（内、面談者3名）〔10名〕
- ・相談種別
内訳）住宅関係…1件、生計・職業・生業問題…2件、福祉関係…2件、
家族関係…1件、離婚問題…4件、財産問題…3件、
人権・法律問題…0件、事故関係…0件、苦情関係…0件
その他（消費者金融関係等）…0件 計13件（重複問題含む）〔21件〕
- ・相談員研修会…3/17、相談件数及び内容の報告を通して相談員のスキルアップを図りました。

◇生活福祉資金貸付事業（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

- ・貸付決定数…74件〔198件〕
- 内訳
- ・緊急小口資金特例貸付…35件〔90件〕
- ・総合支援資金特例貸付…30件〔104件〕
- ・緊急小口資金…2件〔0件〕
- ・教育支援資金…6件〔4件〕
- ・福祉費（療養資金）…1件〔0件〕

◇緊急小口資金貸付事業（善意銀行への寄附金を原資として実施）

貸付件数…79件〔69件〕

◇日常生活自立支援事業（奈良県社会福祉協議会との連携事業）

生活支援員の訪問等により福祉サービスの利用援助を行いました。

- ・総件数…6件〔6件〕
- ・支援員訪問回数…88回〔100回〕 ・訪問時間数…96時間〔104時間〕

2)食料・日用品等の支援

◇本会独自のフードレスキュー・見守り事業

窮迫した生活困窮者等へ安心・安定した相談支援活動を展開していくことを目的とした緊急的食料支援と食料品等の受け入れを行いました。

- ・利用件数…56件〔7件〕 ・食料品等の受入（企業、住民）…46件〔4件〕

◇お米等の無料配付事業（大和磯城ライオンズクラブの協力～町委託による困窮世帯等へのフードレスキュー・見守り事業）

ひとり親世帯や生活困窮世帯を対象に月5kgのお米の配付するとともに必要に応じてレトルト食品やティッシュペーパー等の日用品を配付しました。

・利用登録世帯…196世帯

◇フードレスキュー見守り事業『ichi-市』の開催

・磯城野高校及び企業7社の協力により食料品、日用品の提供とゲームコーナーを設置。66世帯の参加を得ることができました。…3/12

◇その他の物品支援（奈良県社会福祉協議会からの提供品を必要とされる方へ配付しました）

3)障がい者・児への社会参加と生活支援

◇障がい児レクリエーション事業（町委託事業）

療育手帳、身体障害者手帳、精神保健福祉手帳を所持する児童等とその家庭を対象とした、交流会を開催しました。

- ・参加者数…116名〔27名〕（内訳、対象者：35名〔10名〕、付添者：81名〔17名〕）
- ・開催日及び内容…11/13、信貴山観光ホテルにおいて、演者によるパフォーマンスショー、昼食会を開催しました。（予定していた信貴山のどか村の散策は、雨天のため、中止しました）

◇ほのぼのサロン（原則第2・第4水曜日開催）

主に精神障がい者等を対象に、交流の場づくりと社会参加への機会提供を目的としたサロンを開催しました。（内容：スポーツ、レクリエーション、猫カフェ等への外出行事など）

- ・サロン…12回〔10回〕、延べ参加者数…61名〔69名〕
- ・カフェ…中止

◇障害者等相談支援事業（町委託事業）

・障害者特定相談支援事業

障がい者が安心して自立した日常生活を送れるよう、福祉サービス利用に関する情報提供や相談などを行い、また、障害福祉サービス等を申請した方への計画作成や見直しを行いました。

相談・情報提供…2,373件（来所、訪問、会議等）〔2,398件〕

計画作成・見直し…73件〔93件〕

・障害者一般相談支援事業

施設や病院から退所・退院するにあたり支援が必要な障がい者への地域移行に関する相談支援（地域移行支援）や、継続した地域生活が不安定な障がい者に対し、見守りなどの連絡体制の確保など地域で密着したサポート（地域定着支援）の提供を行う事業です。

相談・情報提供…1件〔1件〕

◇磯城郡地域自立支援協議会への参画

磯城郡における行政・障害福祉事業所・当事者団体等で構成される協議会へ参画しました。

- ・運営委員会、相談支援部会へ出席しました。
- ・加入団体数：58団体〔56団体〕

4)福祉用具貸出事業

◇福祉用具(電動ベッド、車椅子、送迎車両)貸出事業

町内在住者に対し、下記物品を貸出しました。

- ・車椅子貸出件数…35件〔67件〕
- ・車椅子乗降対応型車両貸出件数…42件〔39件〕
- ・電動ベッド貸出件数…13件(内、1件新規)

◇3人乗り自転車貸出事業(町委託事業)

1歳以上小学校就学の始期に達するまでの子ども2人以上を養育する保護者に対し、3人乗り自転車を貸出しました。

- ・新規利用者/総利用者数…9名/21名〔8名/19名〕
- ・所有台数…28台〔25台〕
- ・安全運転講習会の開催…4/21

(3) ふれあいセンターの管理運営

◇施設管理運営

- ・開館日数：247日〔248日〕
- ・利用者総数：31,238名〔30,773名〕
- ・児童館利用：6,008名(子ども：3,649名、大人：2,359名)〔5,073名〕
- ・浴場利用：23,287名〔23,692名〕内、介助浴251名〔291名〕
ボイラー不具合のため2/1、3/10、全浴場利用を緊急休止しました。
- ・交流目的等：1,943名〔2,008名〕

◇ふれあいセンター事業運営委員会

5/27開催 令和3年度事業運営報告、令和4年度事業運営計画について

◇ふれあいセンター管理事業

- ・歳末感謝デー：年内最終営業日に、来館者へ感謝を伝える機会と赤い羽根共同募金の周知の機会としてトイレットペーパーと共同募金のウエットティッシュを配布しました(12/25)
- ・ふれあいプチフェスタ：高齢者や親子等、来館者全員が一体的に楽しめる催しとしてフリーマーケット、カレーライスを販売し、食を通じた交流の機会をつくりました(3/26、228名)
- ・イベント風呂：楽しみながら健康促進を目的として開催しました。
(12/26、歳末感謝としてひのき湯、3/26、ふれあいプチフェスタに併せ、さくらの湯)
- ・各種相談事業の実施
健康相談：血圧測定や健康に関する相談を受け付けました(4,196名)〔3,522名〕
児童館：子育て等に関する相談を随時受け付け、必要によって関係機関と情報の共有及び提供を実施しました。
その他：福祉に関する相談を随時実施するとともに、センターでの過ごし方等について関係機関に情報を提供し、見守り体制の構築に寄与しました。

◇田原本町ふれあいセンター協力会による喫茶コーナーの運営

地元婦人会で構成されるふれあいセンター協力会に協力いただき、喫茶コーナーを運営。和やかな雰囲気の中、たくさんの方のコミュニティースペースとして機能しました。
喫茶利用数：4,051件〔2,864件〕

◇児童館事業

・ふれあいきつず

対 象：未就園児親子

目 的：あそびの提供を通じた参加親子が交流できる居場所として

実施回数：9回

参加者：延べ75組157名

内 容：パラバルーン、ボールプール、水遊び、リトミック体操、公園遊び等

・夏休み宿題応援企画

①ふしぎな貯金箱づくり（8/17）

対 象：小学生

目 的：楽しみながら夏休みの宿題に取り組める環境づくりとして

参加者：8名

内 容：ボランティア講師による貯金箱づくりと実習生による遊びの提供

②広間でてらこや（8/18、19）

対 象：小学生

目 的：学習支援および小学生の体をつかう遊びのニーズ充足

参加者：16名

内 容：学習支援とおたのしみ会

・出張児童館(8/21 社会福祉協議会で実施)

対 象：小学生（主にセンター校区外向け）

目 的：校区外小学生への児童館機能の提供・新規利用児童の獲得

参加者：5名

内 容：学習支援とホールでの体を動かす遊びの提供

・ふれあいカフェ

対 象：未就園児保護者

目 的：レスパイトと保護者同士の交流

実施回数：4回

参加者：延べ24組48名

内 容：ボランティアと協同し、子どもへの読み聞かせ・遊びの提供を通じ、母子の分離時間を作り、息抜きしながら交流する場を提供

・ふれあいカフェclosed

対 象：発達障害を持つ子どもとその親

目 的：同じ悩みを持つ者同士のピアサポート・交流

実施回数：4回

参加者：延べ9組22名

内 容：ボランティアと協同し、子どもが児童館で遊んでいる間、悩みの共有や交流する場を提供

◇高齢者・障がい者支援の推進事業

・ふれあいふらっと

対 象：来館者全員

目 的：ふらっと立ち寄って楽しみ、交流できる場の提供および健康維持増進

実施回数：9回

参加者：延べ187名

内 容：クラフトバンドを使った手芸、絵手紙、体操、フレイル講座・測定等

・障がい福祉サービス事業所の物品販売への協力

物品販売場所の提供を通じ、障がい者の社会参加の場づくりに寄与しました。

(毎週水曜日、午後1時から午後3時)

・介助浴室の活用

既存の介護・障がいサービスだけでは充足できない入浴ニーズに対し、町内事業所等に介助浴室について周知し利用を促進し、地域福祉の推進に寄与しました。

◇来館者の方々の意見等を取り入れたセンター運営の実現に向けた取り組みについて

アンケート等を活用したニーズ調査の実施

児童館事業、高齢者・障がい者支援事業における各種事業について、その都度参加者にアンケートを取り、ニーズを調査することで事業実施内容に反映させました。

◇情報の発信

SNSを活用した情報周知を通じた新規利用者の獲得

SNSを活用し、より多くの方へセンターの紹介および事業について周知を図りました。

(4) 事務局運営の充実強化

1)事務局運営

◇理事会及び評議員会（下記のとおり開催しました）

・理事会…5/30、1/30、3/20

・評議員会…6/22、2/8、3/29

◇善意銀行の運営（下記のとおりお寄せいただきました）

・一般寄附…556,558円/42件〔247,018円/29件〕

・物品寄附…車椅子2台

◇社協会員及び賛助会員制度の拡充（下記のとおり会員の確保に努めました）

・個人、団体会員…29件/315,000円〔28件/315,000円〕

・賛助会員…3件/11,000円〔3件/15,000円〕

◇第2期「田原本町地域福祉活動計画」を策定

・町役場が策定する「田原本町地域福祉計画」と一体的に策定しました。

(計画期間…令和5年度から令和9年度)

2)広報・情報提供機能

◇広報「よろこび」発刊事業

- ・年3回発刊し、全戸配布及び赤い羽根共同募金協力企業等へ送付しました。
- ・発刊月…7月、10月、2月

◇ホームページの運営

社協の各種事業、共同募金運動などについて適時更新しました。

◇公式SNSの活用による周知活動とタイムリーな情報提供

公式SNS (Instagram・LINE) により日常の活動の発信や、催しの周知等を行い、SNS利用者にも広く啓発活動を実施しました。

◇町広報紙、情報紙「田原本ダイスキ！」への本会に関する情報の掲載を行いました。

情報紙掲載月…4月、8月、12月、2月

3)各関係機関との連携・協働の充実

- ・日本赤十字社田原本町分区に関する活動資金募集事務を行いました。
- ・社会福祉士実習生の受け入れ…天理大学より4名
- ・保育士実習生の受け入れ…四天王寺大学より1名

(5) 専門職の派遣による福祉施策の充実

1)町役場への派遣

福祉関係有資格者の専門職を町行政へ派遣することにより、安定と地域に根差した福祉施策への展開及び活性化を図りました。

- ・長寿介護課（地域包括支援センター）への派遣者数…9名〔9名〕
- ・健康福祉課への派遣者数…1名〔1名〕